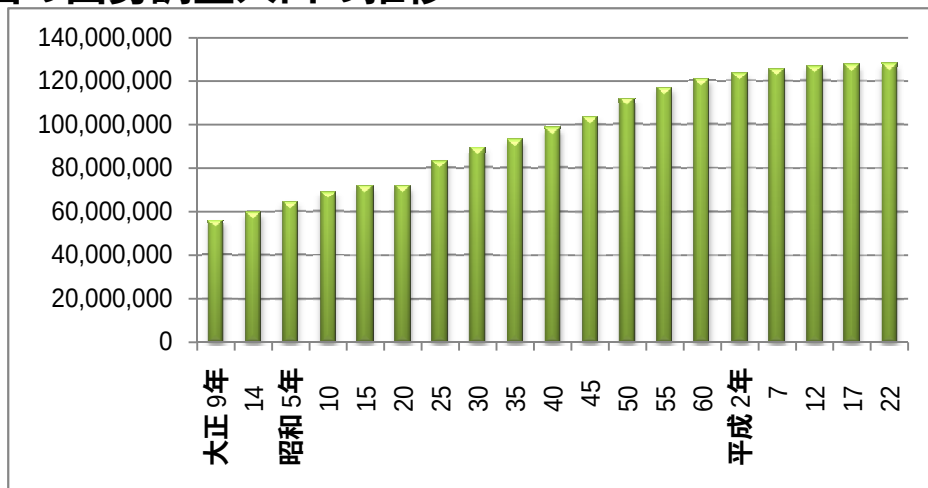
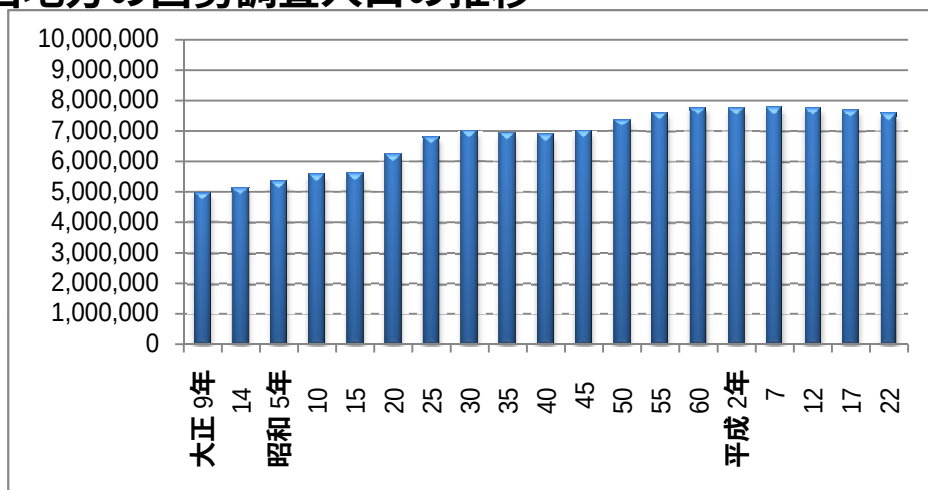


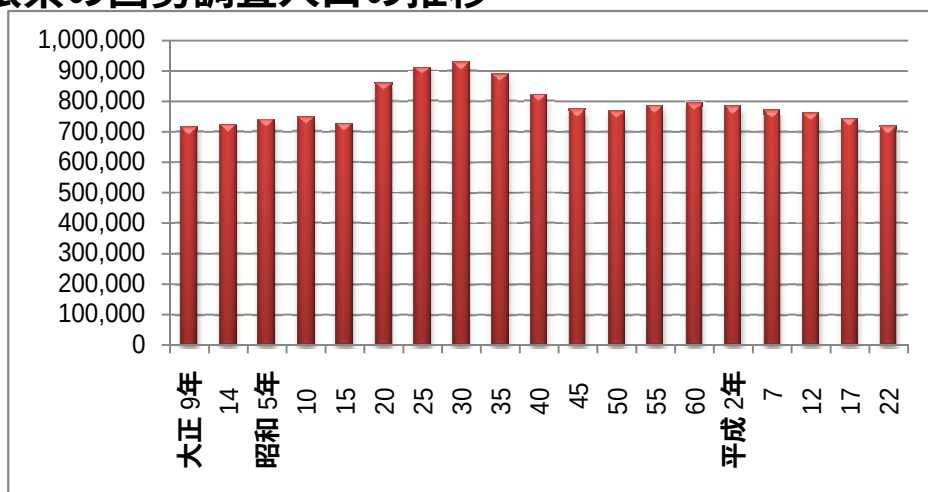
全国の国勢調査人口の推移



中国地方の国勢調査人口の推移



島根県の国勢調査人口の推移



過疎地域等における集落の状況

過疎地域等における集落数・人口・世帯数

	過疎地域等の集落数		過疎地域等の人口		過疎地域等の世帯数	
全国	64,954	100.0%	11,887,715	100.0%	4,679,721	100.0%
中国圏	12,694	19.5%	1,417,463	11.9%	564,226	12.1%

集落における高齢者（65歳以上）割合別分類

	今後の消滅の可能性				
	50%以上		50%未満	無回答	計
		うち100%			
中国圏	2,672 (21.0%)	154 (1.2%)	9,822 (77.4%)	200 (1.6%)	12,694 (100.0%)

消滅の可能性のある集落の現状

	今後の消滅の可能性				計
	10年以内に消滅	いずれ消滅	消滅の可能性はなし	無回答	
中国圏	82 (0.6%)	445 (3.5%)	10,910 (85.9%)	1,257 (9.9%)	12,694 (100.0%)

「過疎地域等における集落の状況に関する現状把握調査結果の概要」
(平成23年4月 総務省地域力創造グループ過疎対策室) を抜粋



平成23年度 自主防災組織リーダー研修会

島根県総務部 消防防災課

1



記念の日

- **「防災の日」 9月1日**

災害についての認識を深め、これに対処する心構えを準備する

- **「防災とボランティアの日」 1月17日**

ボランティア活動への認識を深め、災害への備えを充実強化する

- **「津波防災の日」 11月5日**

2



災害対策関係の主な法律



戦前の治水三法

- ・森林法 (M26?)
- ・河川法 (M29)
- ・砂防法 (M30)

災害救助法 (昭和22年制定)

災害対策基本法 (昭和36年制定)

平常時

大雨

大災害

災害対応

復旧復興

災害の応急対策

行政、住民による災害 への備え

地域防災計画…予防対策計画
応急対策計画、等

災害への警戒

災害対策本部

災害の応急対策

復旧・復興対策

災害復旧事業
生活再建への支援

3



避難勧告等の三類型



区分	発令時の状況	住民に求める行動
避難準備 (要援護 者避難) 情報	・避難行動に時間を要する 者が避難行動を開始しな ければならない段階であり、人 的被害の発生する可能性が 高まった状況	・特に避難行動に時間を要する者は、計 画された避難場所への避難行動を開始 (支援者は支援行動を開始) ・上記以外の者は、家族等との連絡、非 常用持出品の用意等、避難準備を開始
避難勧告	・通常の避難行動ができる 者で避難行動を開始しな ければならない段階であり、人 的被害の発生する可能性が 明らかに高まった状況	・通常の避難行動ができる者は、計画さ れた避難場所等への避難行動を開始
避難指示	・前兆現象の発生など、人 的被害の発生する危険性が 非常に高いと判断された状 況 ・人的被害の発生した状況	・避難勧告等の発令後で避難中の住民 は、確実な避難行動を直ちに完了 ・未だ避難していない対象住民は、直 ちに避難行動に移るとともに、そのいとま がない場合は生命を守る最低限の行動

緊急
度
高

4

(参考) 島根県の主な自然災害歴 (1 / 3)



(風水害等) (災害救助法施行後) (単位:人・棟)

- ①昭和26年大雨 (10月13～15日) 連続雨量364.0mm、日雨量216.8mm
県下 死者7、負傷者13、全壊61、半壊552、浸水2,221
- ②昭和33年大雨 (6月28日～7月3日) 連続雨量567.0mm、日雨量259.0mm
邑智郡 死者3、負傷者153、全壊42、半壊67、浸水8,215
- ③昭和36年大雨 (6月30日～7月10日) 連続雨量460.0mm、日雨量243.0mm
県下 死者14、負傷者72、全壊・流失55、半壊200、浸水12,124
- ④昭和38年1月豪雪 (1月～2月) 最高積雪深 (六日市町345cm、仁多町320cm、赤来町430cm、金城町325cm)
山間部 死者36、負傷者53、全壊318、半壊1,108
- ⑤昭和39年7月大雨 (7月12日～19日) 連続雨量551.0mm、日雨量313.0mm
出雲地方、大田市 死者110、負傷者398、全壊812、半壊948、浸水29,420
- ⑥昭和40年7月豪雨 (7月12～23日) 連続雨量686.0mm、日雨量250.0mm
邑智郡、益田市、江津市、松江市
死者11、負傷者520、全壊134、半壊1,020、浸水13,241

5

(参考) 島根県の主な自然災害歴 (2 / 3)



(風水害等)

- ⑦昭和46年6～7月梅雨前線 (6月～7月) 連続雨量 (松江529mm)、日雨量 (松江120.5mm)
県下 死者5、負傷者6、全壊26、半壊100、浸水6,942
- ⑧昭和47年7月豪雨 (7月9～14日) 連続雨量 (三隅709mm浜田677mm)、日雨量 (三隅390mm浜田317mm)
県下 死者28、負傷者79、全壊751、半壊1,235、浸水38,294
- ⑨昭和50年梅雨前線大雨 (7月13～14日) 大田350.0mm (時間雨量74mm、24時間215mm)
県下 (大田市) 死者9、負傷者16、全壊26、半壊5、浸水3,102
- ⑩昭和58年7月豪雨 (7月19～23日) 連続雨量 (弥栄555mm、浜田522mm)
西部 死者・不明107、負傷者159、全壊1,064、半壊1,977、浸水13,996
- ⑪昭和63年梅雨前線大雨 (7月13～15日) 浜田 (時間雨量78.5mm、連続雨量(9時間)380mm) 三隅 (時間雨量100mm、連続雨量(4時間)308mm)
浜田市、那賀郡 死者6、負傷者29、全壊71、半壊108、浸水6,861
- ⑫平成18年7月豪雨 (7月15～21日)
東部、隠岐 死者5、負傷者12、全壊7、半壊6、浸水1,974

6



(参考) 島根県の主な自然災害歴 (3 / 3)



(地震)

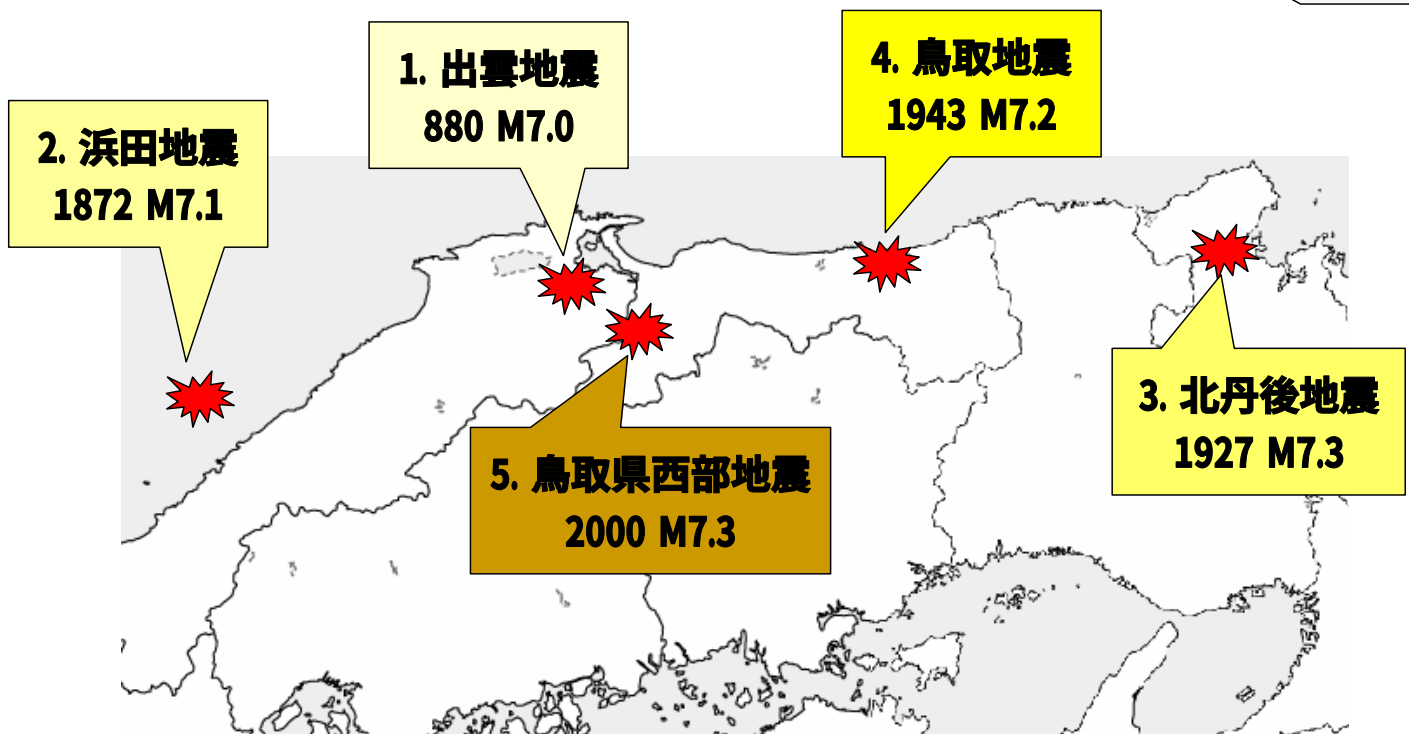
(単位:人・棟)

- ①明治5年3月14日 (新暦) 石見浜田地震 M7.1
石見～出雲 死者551、負傷者582、全壊4,506、半壊6,072、焼失家屋230
- ②昭和18年9月10日 鳥取地震 M7.2
- ③昭和21年12月21日 南海地震 M8.0
平田、大社で民家倒壊
- ④昭和58年5月26日 日本海中部地震 M7.7
隠岐、島根半島 負傷者5、浸水431、漁船305 (津波被害)
- ⑤平成5年7月12日 北海道南西沖地震 M7.8
隠岐、島根半島 浸水83、漁船93 (津波被害)
- ⑥平成12年10月6日 鳥取県西部地震 M7.3
負傷者11、全壊34、半壊576
(震度6強) 日野、境港 (震度6弱) 西伯、溝口
(震度5強) 安来市安来町、宍道町昭和、仁多町三成
(震度5弱) 松江市、平田市、西岩坂、湯町、大東、加茂中、三刀屋、荘原

15



山陰地方の地震 (マグニチュード7.0以上)



16

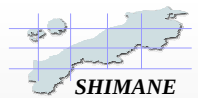
■ 図上訓練 (地域を見直す)



- 地域の情報や状況を図面に書き込んでいく
- 市のハザードマップの活用



■ 防災まち歩き (地域を実地踏査)



- 数人のグループで、役割を決めて歩く
- 今回は、車イスにも順番で乗ってみる (要援護者避難体験)



- 気になるところを写真に撮る
- 注意点などを記録する
- 気が付いた点を地図に書き込む

■防災マップづくり (防災環境の確認)



- まち歩きのコースや避難経路などを地図に記入
- まち歩きで撮影した写真を貼っていく



■避難訓練 (防災・避難計画の検証)



- 地区本部運営
- 避難体験
- 災害時要援護者
- 避難所の運営・炊出し



- 防災マップや避難計画の見直しの必要は？

